学校番号	１０１２

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	手話講座Ⅱ	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「手話は特別じゃない１つの言葉」このメッセージは手話とは１つの言語であり、手話という言語を当たり前に皆が知っていてほしいという意味です。聴覚障がいのある人もない人も学んで欲しい言語です。また手話は目で見る言葉です。表情豊かに表現することにより相手に伝わります。2 年次の手話講座Ⅰで学習した内容を基本とし、更に日常生活で必要な手話や表現について学んでいきます。本授業では手話そのものだけでなく、聞こえに関する学習を通じて聴覚障がいのある方に関する理解や支援の方法、コミュニケーションについて学びます。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
聴覚障がいのある人の個々の状況に応じた効果的なコミュニケーション方法を理解している。
手話表現に必要な単語や会話文を学び、覚えることができている。聴覚障がい者（ろう者）と聴者のコミュニケーションの方法について学び、覚えることができている。

【思考力、判断力、表現力等】
聴覚障害のある人との効果的なコミュニケーション方法に関する課題を発見し、解決しようとしている。表情豊かに表現できるようにする。学んだ手話を使って自分の伝えたいことを表現して相手に伝える力を身につける。手話歌や手話劇、また総合学科「課題研究」をテーマに作文し手話スピーチをする。

【学びに向かう力、人間性等】
自身のコミュニケーション能力向上について主体的に考察している。
単語や会話文の定着のために繰り返し学習ができている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	手話講座Ⅰで学んだ基本的な手話について復習する。日常生活で必要な単語や表現について学ぶ。手話の読み取りや表現が出来るようになる。読み取りテストや実技テストを取り入れ手話の定着を図る。	手話の強弱や表情、口話を意識し相手に伝わりやすい手話表現を目指す。ペアやグループ活動では互いに協力しながら手話が発表できるようにする。手話歌や手話劇をどのように表現すれば伝わるのか思考し、考え発表する。課題研究をテーマにした手話作文では自分の伝えたいことを手話でスピーチをする。	語学である手話を学び表現することで手話の楽しさに触れる。様々な課題を通じ自分の伝えたいことを表現する力をつける。聴覚障がいに関する問題に関心をもち理解しようとする姿勢を養う。自ら手話を学び、手話を用いて聴覚障がいのある方と交流を行う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1		手話で自己紹介を行う。指文字や数字、誕生日、家族、体育祭に関連する　表現について復習し、表現する。 聴覚障がい者の生活や思いについて知る。	a:手話に関する基礎的な知識を身に着け、意義や役割を理解している。手話の単語や文章が身についている。聴覚障がいや視覚障がいへの支援の方法を学ぶ。 b:手話表現について思考を深め基礎的な知識と技術を基に適切に判断し適切に表現している。聴覚障がいや視覚障がいへの支援の方法について理解している。 c:表情豊かに手話を表現し他者とのコミュニケーションができている。聴覚障がいや視覚障がいについて支援の方法を理解し内容をまとめ発表ができている。	テスト	テスト プリント・課題の記述	プリントの取り組み・ワークの参加・発表

		単語、長文を学習し手話で表現する。 災害時に必要な手話について学び表現する。 聴覚障がい者の生活や思いについて知る。	a:手話に関する基礎的な知識を身に着け、意義や役割を理解している。手話の単語や文章が身についている。 b:手話表現について思考を深め基礎的な知識と技術を基に適切に判断し適切に表現している。 c:表情豊かに手話を表現し他者とのコミュニケーションができている。	テスト	テストプリントの記述	プリントの取り組み・ワークの参加・発表
2		単語、長文を学習し手話で表現する。 昔話を題材にグループでシナリオを作り発表する。 聴覚障がい者の生活や思いについて知る。	a:手話に関する基礎的な知識を身に着け、意義や役割を理解している。手話の単語や文章が身についている。 b:手話表現について思考を深め基礎的な知識と技術を基に適切に判断し適切に表現している。 c:表情豊かに手話を表現し他者とのコミュニケーションができている。	テスト	テストプリントの記述	プリントの取り組み・ワークの参加・発表
		単語、長文を学習し手話で表現する。 聴覚障がいのある子どもたちに提供するレクレーションを考え手話で発表する。 聴覚障がい者の生活や思いについて知る。	a:手話に関する基礎的な知識を身に着け、意義や役割を理解している。手話の単語や文章が身についている。 b:手話表現について思考を深め基礎的な知識と技術を基に適切に判断し適切に表現している。 c:表情豊かに手話を表現し他者とのコミュニケーションができている。	テスト	テストプリントの記述	プリントの取り組み・ワークの参加・発表
3		単語、長文、会話文を学習し手話で表現する。 「課題研究」の論文を集約し手話で発表する準備を行う。 聴覚障がい者の生活や思いについて知る。	a:手話に関する基礎的な知識を身に着け、意義や役割を理解している。手話の単語や文章が身についている。 b:手話表現について思考を深め基礎的な知識と技術を基に適切に判断し適切に表現している。 c:表情豊かに手話を表現し他者とのコミュニケーションができている。	テスト	テストプリントの記述	プリントの取り組み・ワークの参加・発表

		単語、長文、会話文を学習し手話で表現する。 「課題研究」の論文を集約し手話で発表し自分の手話表現を振り返る。 聴覚障がい者の生活や思いについて知る。	a:手話に関する基礎的な知識を身に着け、意義や役割を理解している。手話の単語や文章が身についている。 b:手話表現について思考を深め基礎的な知識と技術を基に適切に判断し適切に表現している。 c:表情豊かに手話を表現し他者とのコミュニケーションができている。	テスト	テストプリントの記述	プリントの取り組み・ワークの参加・発表

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度